

巻頭言

金沢大学の50年



北海道大学事務局長
(前金沢大学事務局長)

西村 俊道

周知のとおり、金沢大学は明後年に創立50周年を迎えることとなる。既に記念事業の内容も決定され、本紙にもシリーズ「金沢大学50年の歩み」が掲載され始めて、次第にムードが盛り上がっていることをお互いに喜びたい。

この10月まで本学に約2年半(それは、50年のほんの20分の1にしか当たらないが...)在職させていただいた私の見方が間違っていなければ、金沢大学の50年の前半はいざ知らず、後の半分はまさに「総合移転」中心の、どちらかというところ「ハードの時代」と位置付けられると思う。

一口に「構想10年、(第 期)建築10年」で表現できる歳月をかけてきた総合移転事業の過去は、皆が心血を注いだ大プロジェクトであり、金沢大学に未来への夢を抱かせるに十分な大事業ではあるが、反面この間、(私が口出ししてはいけない教育研究面はともかく)大学運営・経営面から見て、“ソフト”に当たる庶務・企画系の事務・事業が手薄になっていたことは否めない事実のような気がする。

そんな反省を込めて、ここ2・3年、事務局中心に、まずは事務系職員の基礎的資質(特に企画力)の向上を図り、併せて各種行事・事業の企画・実施、地域団体を含めた学外との交流・交渉の促進、このアカンサスニュースをはじめとする各種資料の作成、広報の強化、などを進めさせていただいた。これらが血となり肉となって、既に軌道に乗っている立派な骨格(ハード)づくりと相まって、バランスの取れた金沢大学が次の50年目指して育っていくことを、ひたすら祈りたいと思う。

ひどく偉そうなことを書きましたが、こちら未だ修行の身です。引き続きの御指導・御鞭撻をお願いいたします。短い間でしたが、大変お世話になり、ありがとうございました。(札幌市で)

今月の表紙写真

Cover Photo

“**科研費説明会**”を開催
本学会場に東海北陸地区から約190人が集まる

(関連記事は2ページ)



調書記載の留意点などが述べられた説明会
= 10月3日午後、工学部(小立野)秀峯会館で

「石川の森づくり'97」で
平和町キャンパスにも植樹

(関連記事は2ページ)



重いスコップを持って植樹に張り切る幼稚園児
= 10月26日午後、附属学校 平和町で





文部省の科研費担当官(鈴木達也^{科学研究費 一般助成係長})が講演 “ 東海北陸地区科研費説明会 ” での来学を機に

10月2日、事務局大会議室で、“ 科研費に関する講演会 ” が開催され、文部省学術国際局研究助成課の鈴木係長が集まった約100人の教官に対し、「申請と審査」をテーマに講演した。

また翌3日には、工学部秀峯会館で、東海北陸地区の事務担当者を対象とした「平成10年度科学研究費補助金公募要領等の説明会」が行われ、84機関から187人が参加した。



講師に対して、熱心に質問をする本学教官
= 10月2日午後、事務局大会議室で



“ 科研費 ” の制度や審査の状況について説明する鈴木係長
= 同左

関連の写真もう1枚を
表紙にカラーで紹介

「石川の森づくり'97」が行われる

10月26日、平和町キャンパスで、「石川の森づくり'97」(主催：社団法人石川の森づくり推進協会)が開催された。

本学を会場としての開催は、昨年秋の角間キャンパスに続いて2回目目で、教育学部附属学校の児童・生徒や一般市民など約100人が協力し、ソメイヨシノなどの木々45本を植樹した。



植樹前にあいさつする澁谷亮治氏(石川の森づくり推進協会会長)
= 同左



コブシの苗木を植樹する関係者たち
= 10月26日午後、附属学校(平和町)で

関連の写真もう1枚を
表紙にカラーで紹介





65名の名誉教授が集う 「学長と名誉教授との懇談会」を開催



歓談する名誉教授の皆さん
= 10月6日昼、ホテル日航金沢(金沢市本町)で

恒例の「学長と名誉教授との懇談会」が10月6日、ホテル日航金沢を会場として開催され、名誉教授65名のほか、岡田晃学長、各部署長など本学関係者多数が参加した。

同懇談会では、参加者が出身部局や年齢にこだわることなく、広く旧交を温めた。



あいさつする岡田学長
= 同左

恒例の“事務OB会”が開かれる

10月24日、角間キャンパスで、事務OB会(第3回会合)が開催され、OB40名と現職46名の計86名が出席した。

事務局大会議室で行われた総会では、西村俊道事務局長から大学の現況が報告され、その後に催された親睦会では、久しぶりの再会に一同は終始和やかに懇談した。



総会で大学の現況報告をする西村事務局長
= 同左、事務局大会議室で



懐かしい話題で盛り上がった親睦会
= 10月24日夕刻、北福利施設(角間)で



親睦会の乾杯の音頭をとる磯村正氏(元事務局長)
= 同左



共同研究センター主催で「技術開発ゼミナール」がスタート

共同研究センター主催による「技術開発ゼミナール」が、10月29日にスタートした。

これは、文部省が推進する「高度技術研修」として、本学では初めて実施されるものであり、石川県内の企業の技術者17名が、より高度の加工技術を身に付けようと、週1回の講義・実習に取り組んでいる。ゼミナールは、12月17日まで続く。



開講に当たり、あいさつする安井武司共同研究センター長
= 10月29日午後、工学部第2会議室(小立野)で

蘇州大学長を招いて「国際交流特別講演会」を開く

10月27日、事務局大会議室(角間)で、「国際交流特別講演会」が開催され、約40人の教職員が聴講した。

講師として、本学の交流協定校である蘇州大学の^{センバイ}銭培^{トウ}徳学長を招いて、「21世紀に直面する中国の大学教育」と題する講演が行われた。同学長は経験をもとに、大学管理・教育改革・学校建設の在り方について語った。



講演する蘇州大学の銭学長
= 10月27日午後、事務局大会議室で

“1997年日本留学フェア”に本学も参加

10月13日から19日にかけて、台湾と韓国で順次「日本留学フェア」〔主催：(財)日本国際教育協会〕が開催され、日本から国公私立大学71校が参加した。本学からは、八重澤留学生センター教授と松井留学生課専門員、東田国際交流課国際企画係長が現地へ赴き、本学のコーナーを訪れた合わせて約80人の現地学生の質問に答えた。



訪れた留学希望者の質問に熱心に答える本学職員
= 10月13日午後、Hotel Lotta(韓国(ソウル市))で

10月の研修スナップ

目録システム地域講習会(雑誌コース)

期 日：10月1日～3日
受講者：目録所在情報サービス参加館の職員 10名
場 所：附属図書館会議室



講師である本学職員に教わりながら、情報システムを操作する受講生
= 10月1日午後、附属図書館で





10月の全国・ブロック会議

本学が当番で開催した全国又は地方ブロックの会議

平成9年度東海・北陸地区国立大学学生部次長・課長会議

期 日：10月23日
場 所：メルパルク金沢(金沢市玉川町)
出席者：文部省高等教育局学生課角田喜彦課長補佐，
同学生課調査係八田弘主任，
東海・北陸地区の国立大学から39名

開会のあいさつをする
大場義樹学生部長
メルパルク金沢で
10月23日午後、



第45回六大学法文系学部長会議

期 日：10月30日，31日
場 所：ホリデイ・イン金沢(金沢市堀川町)
出席者：文部省高等教育局大学課大学改革推進室
手島英雄大学院係長，
同大学入試室佐藤昭博企画係員，
本学を含む六大学から33名

あいさつする藤田曉男
経済学部長
10月30日午前、
ホリデイ・イン金沢で



平成9年度東海・北陸地区事務電算化担当職員B研修

期 日：10月27日～30日
受講者：事務の電算処理を担当する職員 21名
場 所：辰口共同研修センター



講義をする文部省大臣官房政策課情報処理室の林田宏三データベース企画係主任
=10月27日午後，辰口共同研修センターで

平成9年度第2回文書実務研修

期 日：10月28日
受講者：事務に従事する係長又は主任 22名
場 所：事務局大会議室



とちいで
田端具英氏(読売新聞社金沢総局長)を講師に迎えての講義
=10月28日午後，事務局大会議室で

本学へのお客さま(10月)



ドイツ学術交流会(DAAD)のディルク・シュトゥッケンシュミット東京事務所長(左)
=10月1日，学長室で



筑波技術短期大学の藤田不二男副学長(中央)
=10月23日，事務局長室で



松田章一先生(前附属高校副校長)に 泉鏡花記念金沢市民文化賞

金沢市は、10月16日、第25回泉鏡花記念金沢市民文化賞を、前教育学部附属高等学校副校長の松田章一さんとほか1名に贈ることを決定した。応募作は43作であった。

松田さんは、附属高校教諭(今年3月退職)の傍ら脚本家としても活躍しており、代表作「松田章一戯曲集 和菓子屋包匠 他」での受賞となった。



受賞作品を手にして喜びの松田さん
= 11月3日午後、附属高校事務室(平和町)で

金大フィル“^{みその}御園小20周年”で演奏 ハーモニー

10月18日に行われた御園小学校(野々市町)の創立20周年記念式典に、本学学生サークルのフィルハーモニー管弦楽団が出演し、全児童を含む約800人の参加者を前に、「ミッキーマウスマーチ」など5曲を披露した。児童たちは、一つひとつの楽器の説明とめったに聞けないオーケストラの生演奏に大喜びだった。



演奏する金沢大学フィルハーモニー管弦楽団の皆さん
= 10月18日午後、野々市町立御園小学校体育館で



国際交流協定締結大学(その8)

ジーゲン総合大学(ドイツ)

〔1993.9.14協定締結〕

ジーゲン総合大学は、1972年8月に既設の大学の合併により、多くの専門分野を擁する総合大学として設立された。現在は、学部数12、教職員数1,500人、学生数13,000人となっている。所在地のジーゲンは、フランクフルトの北西約100kmに位置する。

また、ジーゲン総合大学はドイツの著名な雑誌『ディール・シュピーゲル』によって判定された“国内大学ランキング”で、1989年度第1位、1993年度第4位の実績を有している。

(写真は、最近同大学から送付されたもの)



ジーゲン総合大学の航空写真(一部)。山岳地帯にあり周囲は緑に包まれている。右上が本部棟。





ハマディ ザルドゥム
**梶川教授(工)とHamadi Zardoum さん(自然研2年)が
 「繊維補強コンクリートに関するアジア・パシフィック会議」 最優秀論文賞受賞**

8月28, 29日の両日, シンガポールで開催された「繊維補強コンクリートに関するアジア・パシフィック会議」において, 本学の梶川康男教授(工学部)とHamadi Zardoumさん(自然科学研究科システム科学専攻2年)が発表した論文「鋼繊維補強コンクリートばりの変形挙動に関する研究」が最優秀論文賞を獲得した。



最優秀賞の楯を手にする梶川教授(右)とザルドゥムさん
 = 8月29日午後, ホテルニューオータニ(シンガポール)で

“ 創立50周年 ” のシンボルマーク決まる!

本年5月から募集していた創立50周年記念事業のシンボルマークが, このたび「創立50周年記念事業企画委員会」の審査を経て決定した。教職員・学生から計8点の応募があった中, 庶務部庶務課の池端良伸さんの作品が見事, 最優秀作品として採用されたものである。

シンボルマークについては, 裏表紙にカラーで紹介



岡田晃学長から記念品を手渡される池端さん(左)
 = 10月17日午前, 学長室で



KUPIS (キューピーズ) 情報

金沢大学ホームページ

従来の“金沢大学「公式ホームページ」情報”を改題

クリック順

トップページ ▶

地域との
交流広場 ▶

金沢大学の
研究協力制度

金沢大学と地域産業界との連携促進のために関連制度を紹介したページ。「大学と民間等との共同研究」, 「受託研究」, 「受託研究員」, 「奨学寄附金」の制度等を収めている。

特に, 平成9年度の制度の改善点も盛り込んでおり, 民間企業人だけでなく, 大学の教職員にとっても, これらの新情報を得るのに有効である。

アドレスは

<http://www.kanazawa-u.ac.jp>

その4 金沢大学の
研究協力制度



編集後記

朝夕だんだんと冷え込み, 温かい鍋物が恋しい季節となった。

そのような中, 今月は, 学内のテニス大会, 職員ボウリング大会が相次いで開催され, 本学の教職員の方々も「スポーツの秋」を満喫されたようである。私自身も, 日ごろの運動不足を補い心身共にリフレッシュするために, 8月に行われた学内のソフトボール大会に続いて両大会に参加させていただいた。さすがに体は思うように動かず, 大会後の数日は筋肉痛で歩くのもぎこちなかったが, 徐々にいい汗をかくことができ大変満足した。そして何よりも良かったことは, これらの大会を通して, 職場でお世話になっている方々の, いつもとは違った顔を拝見すること

ができ, さらに, 普段はあまり接する機会のない他の部署の方々とも交流を深めることができたことである。ここでの体験は, 今後の仕事の中でも何らかの形で生かされるであろう。

最後に, 巻頭言をご覧になってお分りのとおり, 西村事務局長が北海道大学へ転任されることとなった。「アカンサス ニュース」には創刊時から携わってこられ, 前年度の文部省の“広報紙コンクール”における「優秀賞」獲得の立役者でもあった方である。今後も, 西村事務局長が教えてくださった数々のことを生かしつつ, 「アカンサス ニュース」が更に充実したものとなるよう, 努力していきたい。(数中)



このページには、カラーで紹介するのにふさわしい写真を集めてあります。



金沢大学事務OB会(第3回会合)での集合写真
=10月24日夕刻, 教育学部(角間) 玄関 (関連記事は7ページ)

(橋本写真館 撮影)

197 修学旅行(附属中学校)スマップ

附属中学校の修学旅行では, 2年生が10月21日から4日間の日程で岡山・倉敷・姫路・神戸・奈良を巡った。




11月22日、神戸・異人館街でグループそろったの記念写真



11月24日、奈良・東大寺で鹿とたわむれる生徒たち

“ 創立50周年 ”
シンボルマーク紹介



この作品では, “5”を180度回転させることで英語の“go”に見えるようにするなど, 金沢大学が今後も躍進することを願って, デザインが工夫されている。(関連記事は7ページ)

平成9年11月21日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-11 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容, その他本学に関する諸情報については, 「金沢大学ホームページ 愛称 “ KUPIS ” (キューピーズ) 」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは, 電子メール (E-mail) = general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。